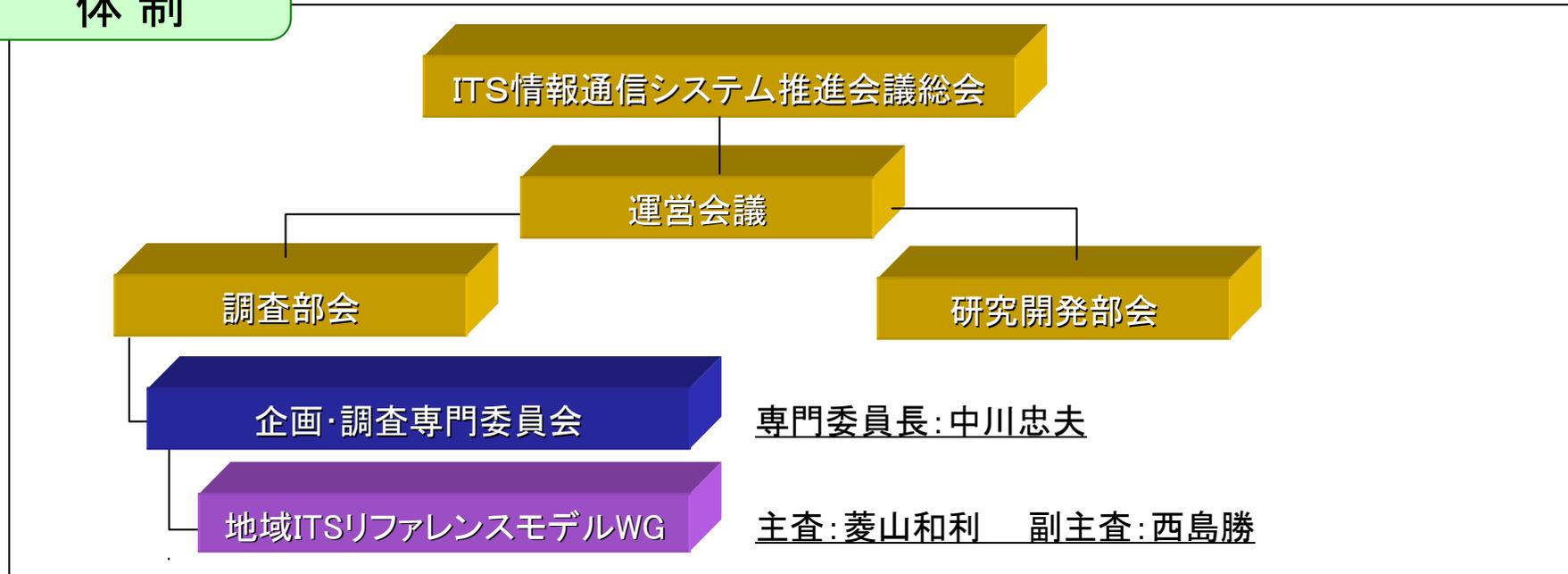


企画・調査専門委員会 平成18年度活動報告

平成19年5月11日
ITS情報通信システム推進会議
企画・調査専門委員会

1. 企画・調査専門委員会について

体制



目的と活動

●目的:

地域におけるITS情報通信システムの普及促進を目指し、官民双方の視点からの検討、および地域ITS推進者への支援を実施する。

●平成18年度活動:

- ①地域ITS推進者からのヒアリングおよび意見交換
- ②全国の地域ITS動向調査・ITS施策に活用可能な予算制度の調査
- ③ITS導入検討ガイドブック再編

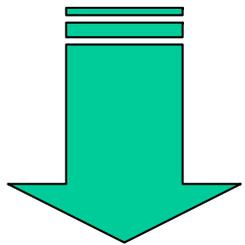
2. 平成18年度 企画・調査専門委員会活動概要

企画・調査専門委員会では、ITSの地域への普及促進を目指し、平成16年度に作成した『地域ITS導入検討ガイドブック(ITS FORUM SC-002)』を活用し、地域のITS関連団体に対して、ヒアリングの実施並びに意見交換会を開催してきた。

その結果、各地域におけるITSに対するニーズは多様であるが、大きく以下の2点が課題であることが判明した。

地域におけるITS導入の課題

- ・地域ごとのニーズに最適なITSシステムがうまく検討できない
- ・ITSに対応できる予算確保が難しいため、実際の施策に取り組むことができない



地域でITSを展開するために、引き続き地域のITS推進団体から課題をヒアリング・意見交換を継続実施しながら、以下の活動を実施する。

H18年度企画・調査専門委員会の取り組み

- ・各地域における最新のITS事例の調査・収集
- ・ITS施策に活用可能な予算制度の調査

3. H18年度の主な活動成果 概要

企画・調査専門員会 「地域ITSリファレンスモデルWG」における活動成果

●地域ITS普及促進活動(地域ITS導入検討支援)を実施

①特定地域における地域ITS推進者からのヒアリングおよび意見交換

・2006年地域ITS推進団体連絡会参加(ITS Japan主催)

⇒全国のITS推進団体との情報共有・意見交換を図った。

◆高知県意見交換会

◆愛知県意見交換会

⇒それぞれの地域でのITSの取り組み・課題等について意見交換を実施した。

②全国におけるITSの動向調査

⇒地域ITS推進者に、各地域における実践的なITSの事例を紹介することを目的として、

2006年度に実施された地域における主な社会実験・実証実験について調査を実施。

③ITS導入検討ガイドブック再編

・ITS導入検討ガイドブック改訂(再編)

⇒最新の地域のITS事例およびヒアリングによる地域の取り組み・知見を集約

4. H18年度の主な活動成果①

活動成果

●特定地域における地域ITS推進者からのヒアリングおよび意見交換

《高知県意見交換会》

高知県におけるITSの取り組みについて、具体的な取り組みや高知ならではの工夫、体制についてヒアリングを実施するとともに、意見交換を実施した。

◆産官学がうまく連携を取ってITS施策を実施するように進めている

⇒高知県・高知工科大学・地元企業の連携によりローカルスペックのITSシステムの検討・開発

☆産官学の連携成果 平成17年度 道路情報板(KL1型(高知県仕様))開発

◆地場産業の育成、地元企業の活性化を重視している。

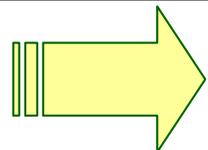
⇒既存設備拡充検討、老朽化した情報関連装置等の更新検討など地に足の着いた取り組みを実施

☆安定したサービスレベルの確保や県内企業の活性化に寄与する仕組みをITSにて実現

◆高知という一地方で、また予算が少ない中で、工夫次第で様々な課題解決に向けた取り組みができることを実証し、県外への展開を目指している。

⇒積極的に成果を外部にPR・県外展開

☆少ない予算の中で工夫次第で様々な課題解決に向けた取り組みが出来ることを実証



『地域密着型のITSを実現！』

4. H18年度の主な活動成果①

●高知県におけるITSの導入成功事例

《中山間道路走行支援システム(高知県)》

中山間道路走行支援システムは1.5車線の道路整備を補完するシステムで、山間道等での対向車の接近情報を提供することで、見通し不良の1車線区間においてスムーズな交通を実現する。大幅な低廉化とソーラーバッテリーによる駆動を可能とした。



・対向車の存在を検知し、ドライバーに情報提供を行い注意喚起する

⇒シンプルかつ安価なシステムで、安全かつスムーズな行き来を誘導！

⇒地元企業による開発・製造(地場産業の育成・活性化)

⇒他県へも成果展開(20箇所以上で導入)

4. H18年度の主な活動成果②

活動成果

《愛知県意見交換会》

愛知県におけるITSの取り組みについて、具体的な取り組みや愛知ならではの工夫、体制についてヒアリングを実施するとともに、意見交換を実施した。

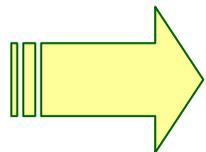
- ◆ 予算がない中で、愛知県ITS推進の事務局として、県内の市町村へのサポートを実施
⇒ 愛知県内の市町村を対象に「地区懇談会」を開催。ITSの概要、行政で活用できるITS技術等レクチャを行いながら地域ニーズの抽出を行なった。

☆ITS導入に向けたパンフレット「ITSでまちづくり」を作成

現在ITSを活用した中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画に着手

- ◆ 住民のITSの意識を高めるため、一般住民向けのITS普及・啓発活動を積極的に実施。
⇒ ITSを推進するためには、住民の意識を高めることが必要と考え、住民向けの様々な企画を実施

☆あいちITS交流フォーラム、ITS大学セミナーの開催(大学生のITSに対する認知度向上、将来のITSを担う人材育成等を目的に実施)



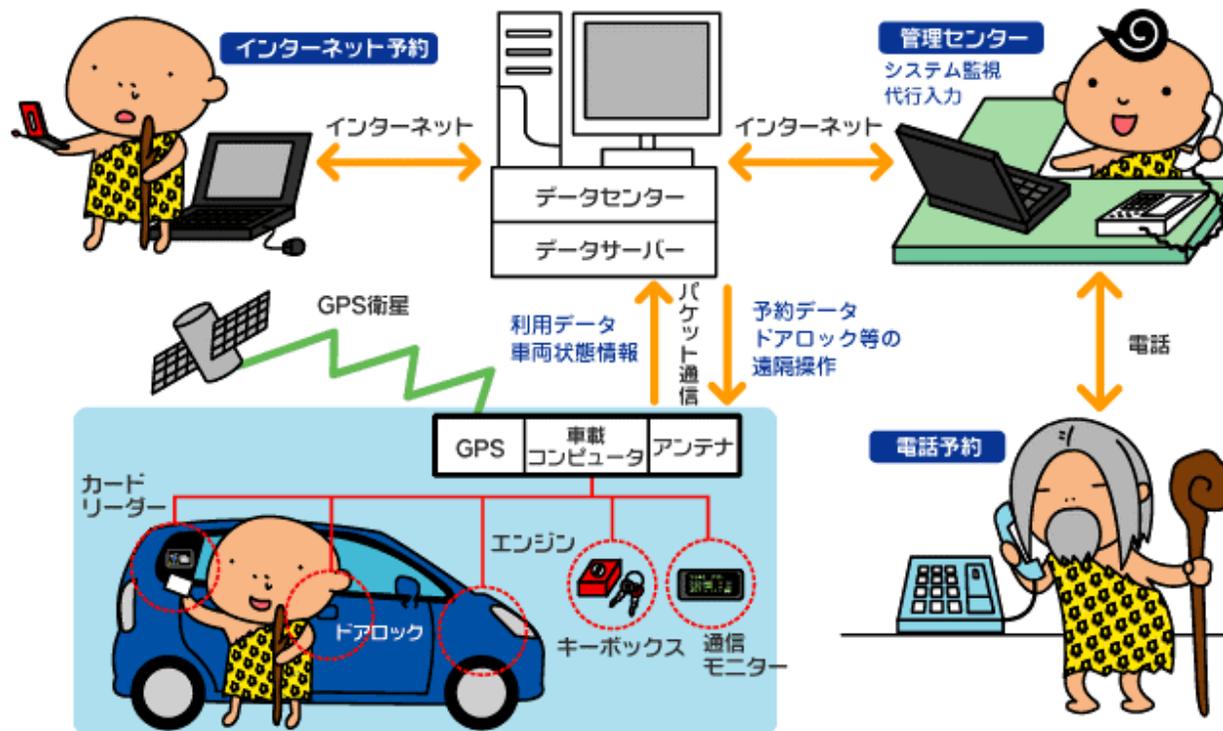
『地域住民のITS意識を向上させ理解を深める』

4. H18年度の主な活動成果②

●愛知県(名古屋市)におけるITSの導入成功事例

《カーシェアリング(名古屋市)》

1台のクルマを複数の人たちで共同利用する会員制のしくみ。クルマを所有した場合の利便性を損なわずに、共有することでクルマに関わる費用を軽減。



●パソコンや携帯電話から
24時間365日いつでも予約OK

●クルマにICカードをかざして
ロックを解錠

●15分単位で乗車可能

- ・駐車料金、税金、保険、車検といったクルマにかかる経費が不要
- ・路上駐車や交通渋滞といった都市部における交通問題を緩和
- ・排ガス、過剰生産、乱廃棄を抑え、地球環境を保護

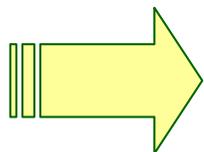
4. H18年度の主な活動成果③

●全国の地域におけるITSの動向調査

これまでのヒアリングにおいて、他地域におけるITSの取り組み事例が知りたいというニーズや、現在のITSのトレンドを知りたいという要望を受けて、2006年度に実施された、地域における主な社会実験・実証実験について調査を実施し、取り纏めた。

区分		実施主体	名称・内容	期間・場所	特記事項
地域ITS 社会実験	1	帯広まちなか歩行者天国実行委員会	帯広まちなか歩行者天国社会実験	北海道 帯広市 歩行者天国 2006/7/16、23、30、 8/6、20、27、9/3、10 馬車運行 7/23、30、8/20、27、9/3、 10	帯広駅前の道道及び市道において、歩行者天国を実施するとともに、駐車場の利用向上策を実施する。また、駅前から馬車を運行する http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/smart_ic/pdf/31.pdf
	2	NPO法人 阿寒観光協会まちづくり推進機構	ここちよい湖畔、のんびり温泉『阿寒湖』社会実験	北海道 釧路市 循環バス 2006/8/10--10/15 ボンエルフ 2006/9/14--9/20	阿寒湖周辺地区の商店街内の道路において、一方通行化とともにボンエルフ化を実施し、路上駐車抑制効果を検証する。また、駐車場、商店街、住宅地を結ぶ循環バスを運行する http://www.lake-akan.com/
	3	札幌市	安全・安心で魅力的な道路空間の創出実証実験	北海道 札幌市 薄野地区 2006/7/6--8、9/7--9 大通り地区 2006/10/12--25	薄野地区において、夜間に歩行者天国化する歩行者優先施策を実施する。また、大通り地区において、タクシープールを設置する http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/toshin/
	4	馬をめぐる地域まるごと体験交流連携事業実行委員会	馬車が走るスローで素敵なまち盛岡の魅力づくり社会実験	岩手県 盛岡市 2006/10/7—8、11/3--4	盛岡市の中心部の道路において、観光馬車を運行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う http://www.u-keikaku.com/basya/

※2006年度に実施された主要な社会実験、実証実験 一部抜粋



地域にとってITSは道路・交通における個別の役割ではなく、

街づくりの一環となってきたり！

5. 平成19年度の活動予定①

●安全・安心ITSの全国展開および地域定着を目指した活動

